

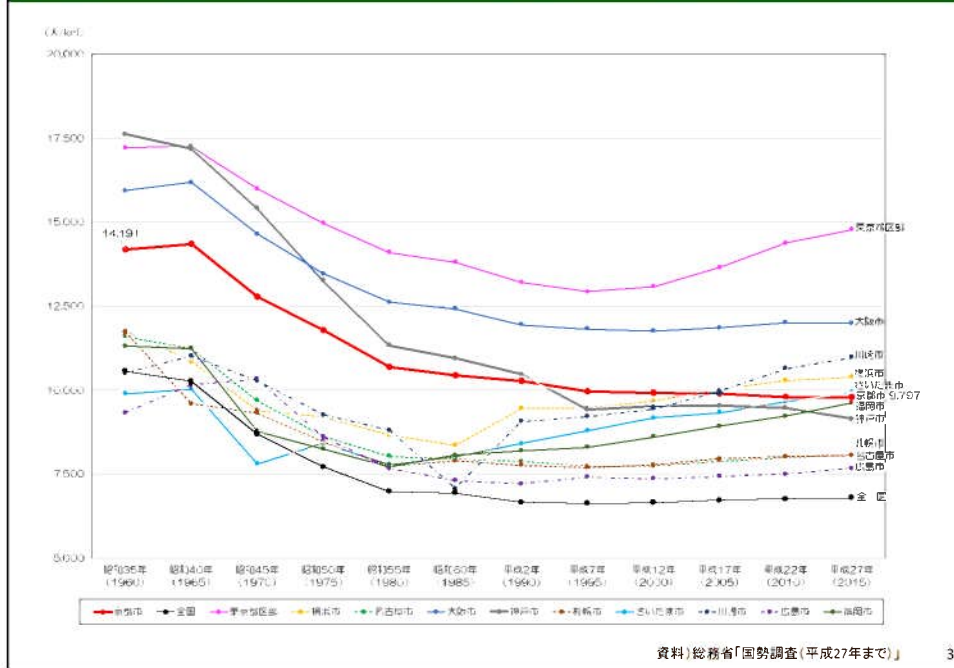
## 資料編

令和2年9月  
京都市 都市計画局 都市計画課

### 目次

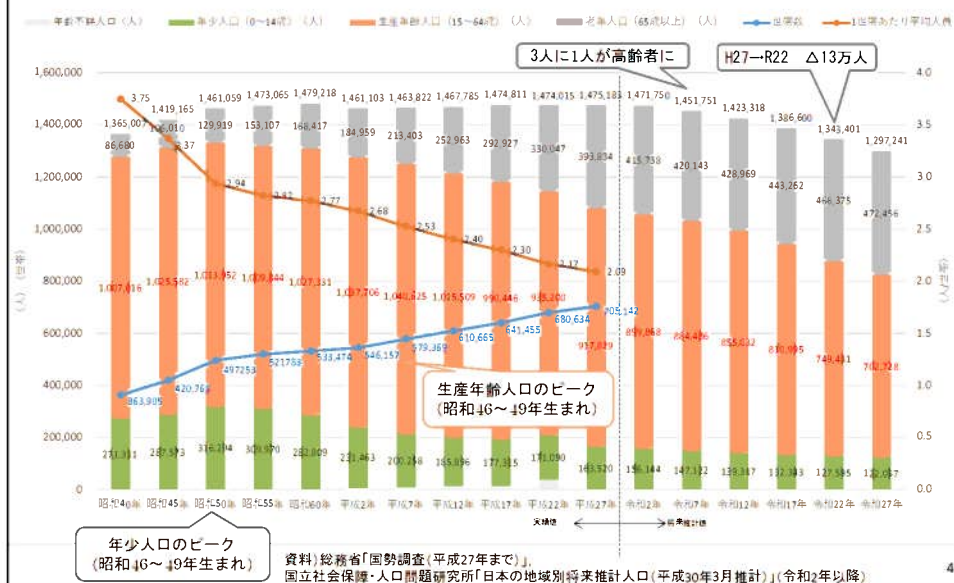
|                               |    |
|-------------------------------|----|
| 【定住人口】                        |    |
| ・人口100万人以上都市のDID人口密度(S35～H27) | 3  |
| ・京都市の人口の推移と推計(S40～R27)        | 4  |
| ・京都市の人口推移と推計(人口ピラミッドH2～R27)   | 5  |
| ・行政区別の人口の推移(S30～H27)          | 6  |
| ・人口集中地区、行政区別の人口増減(H22→27)     | 8  |
| ・行政区別の社会動態の推移(H24→R1)         | 9  |
| ・社会動態(東京都、近隣市町への転出超過)         | 10 |
| ・社会動態(就職、結婚・子育て世代の転出超過)       | 10 |
| 【屋間人口】                        |    |
| ・京都市への通勤・通学流入の推移(S55～H27)     | 11 |
| ・昼夜間人口の大都市比較(H27)             | 12 |
| ・昼夜間人口の動向(政令市比較)(H22→27)      | 13 |
| ・昼夜間人口の動向(周辺市町比較)(H22→27)     | 14 |
| ・周辺市町村から4政令市への通勤・通学者数割合(H27)  | 15 |
| 【住宅】                          |    |
| ・住宅建築の年代別状況                   | 17 |
| ・各行政区における住宅建築の年代別状況           | 18 |
| ・種類別の空き家数                     | 19 |
| ・各行政区における空き家数、空き家率、高齢化率       | 20 |
| 【産業・働く場】                      |    |
| ・市内総生産の構成比(京都市と政令市平均)         | 21 |
| ・工場等の市外移転(規模・理由)              | 22 |
| ・市内に常住する従業者(15歳以上)の就業地の変化     | 23 |
| ・テナントビルの空室率と平均賃料の推移           | 24 |
| 【商業・生活サービス】                   |    |
| ・小売事業所数(市民千人当たり)              | 25 |
| ・日常生活に必要な施設(医療・福祉・商業)         | 26 |
| 商業・業務機能施設の床面積増加率(H22→27)      | 27 |
| 【大学】                          |    |
| ・大学・短期大学の立地状況                 | 28 |
| ・学生数の推移、留学生数の推移               | 29 |
| 【観光】                          |    |
| ・観光客数の推移                      | 30 |
| ・交流人口・観光客の訪問先(上位25位)          | 31 |
| ・宿泊施設の立地状況                    | 32 |
| 【文化】                          |    |
| ・世界文化遺産、京町家の分布状況              | 33 |
| ・寺社の分布状況                      | 34 |
| 【公共交通】                        |    |
| ・公共交通の利用状況                    | 35 |
| ・公共交通のネットワーク状況                | 36 |
| (参考)                          |    |
| ・他都市との比較                      | 37 |

## 【定住人口】人口100万人以上都市のDID人口密度(S35～H27)



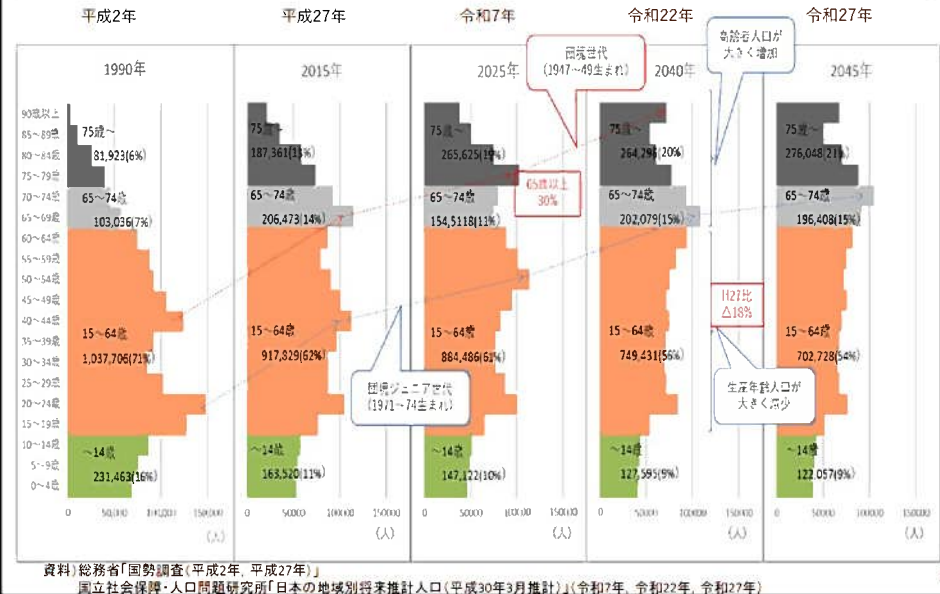
## 【定住人口】京都市の人口の推移と推計(S40～R27)

本市の人口は、平成27年まで147万人前後でほぼ横ばいだが、以降は減少に転じ、令和22年までには約13万人減少すると推計されている。



## 【定住人口】京都市の人口推移と推計(人口ピラミッドH2～R27)

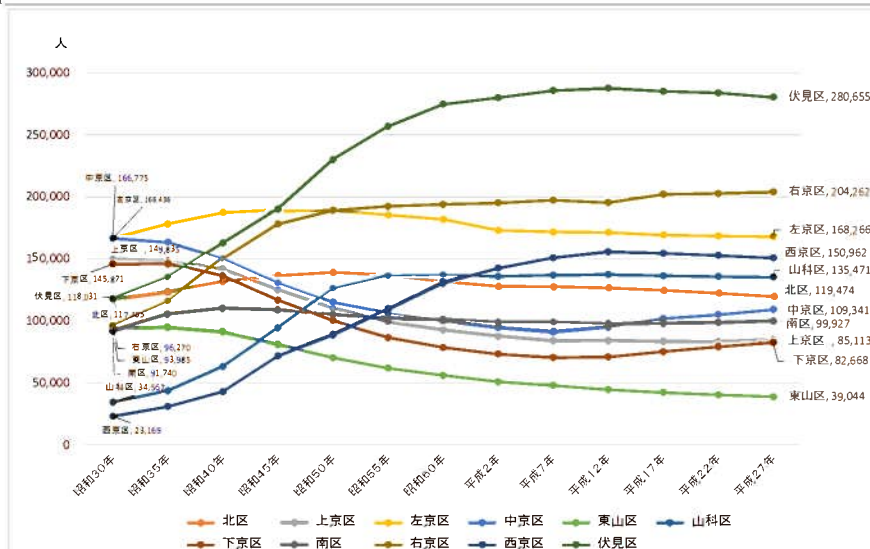
令和7年には、3人に1人が高齢者となる見込み。令和22年には、生産年齢人口が平成27年比マイナス18%となる見込み。



5

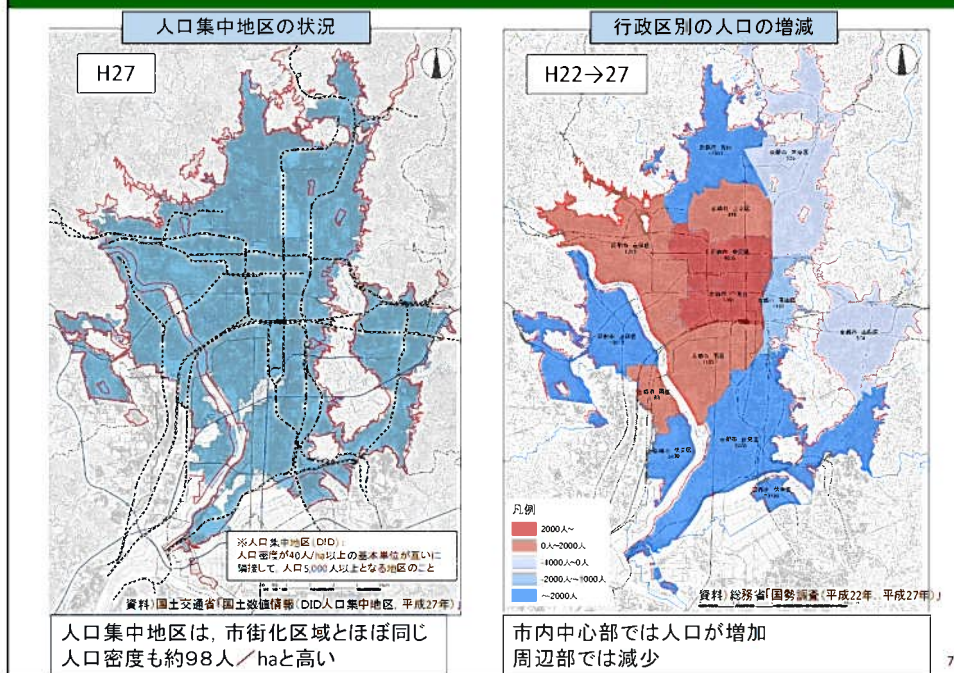
## 【定住人口】行政区別の人口の推移(S30～H27)

ニュータウン開発が行われた西京,伏見区では、人口が急増。一方、上京,中京,東山,下京区は、昭和30年当時の半数程度の人口となっている。



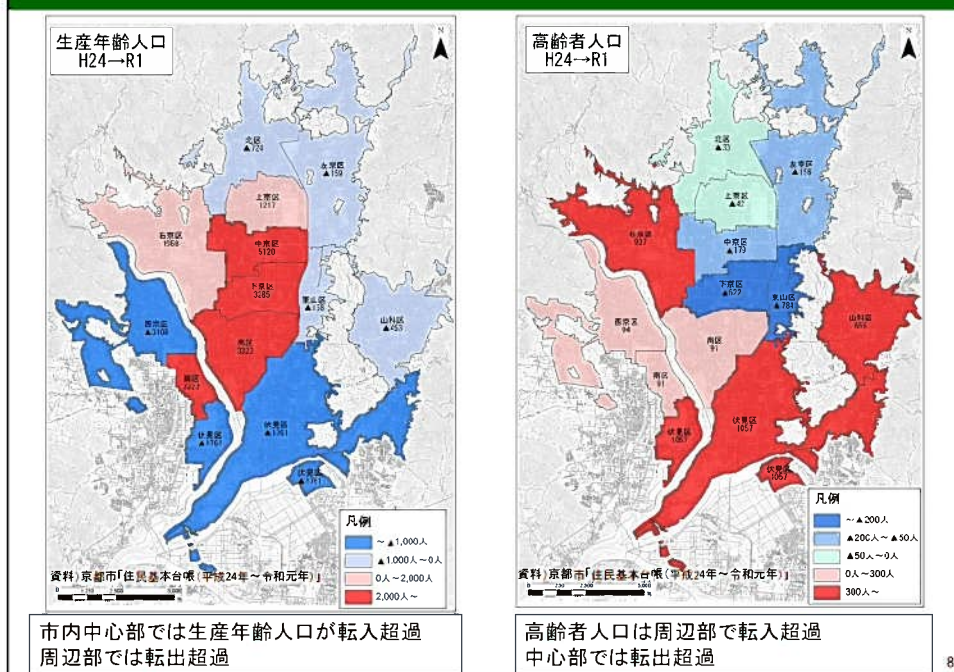
6

## 【定住人口】人口集中地区, 行政区別の人口増減(H22→27)



7

## 【定住人口】行政区別の社会動態の推移(H24→R1)



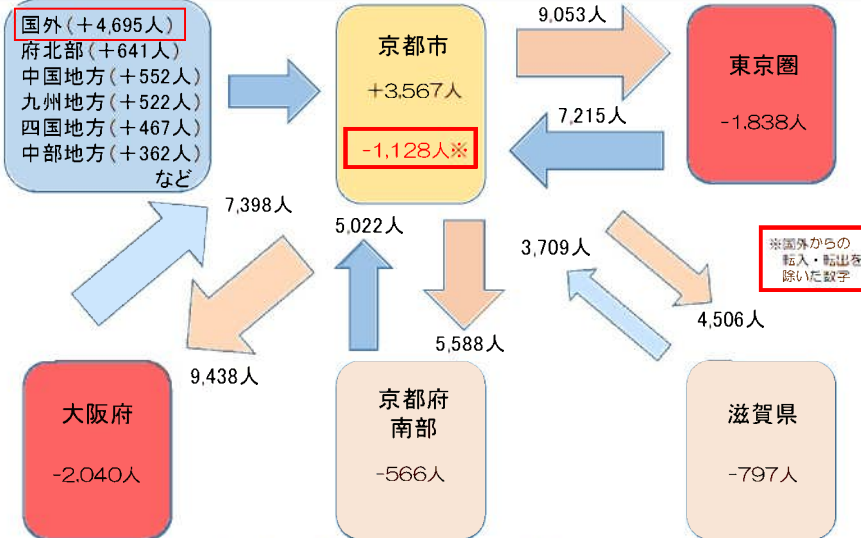
8



## 【定住人口】社会動態(東京都、近隣市町への転出超過)

【本市と他都市との転入・転出の状況(令和元年)】

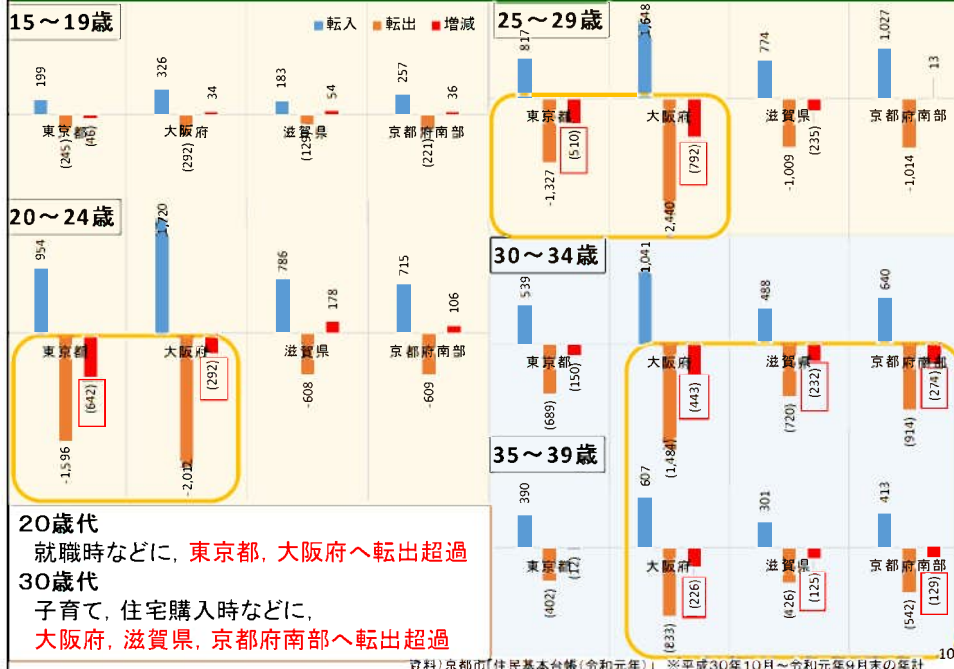
本市全体では**転入超過**。東京都、大阪府、府南部、滋賀県に対しては**転出超過**  
ただし、国外からの転入・転出を除くと、転出が超過



資料)京都市「住民基本台帳(令和元年)」 ※平成30年10月～令和元年9月末の年計。転出元不詳を除く。

9

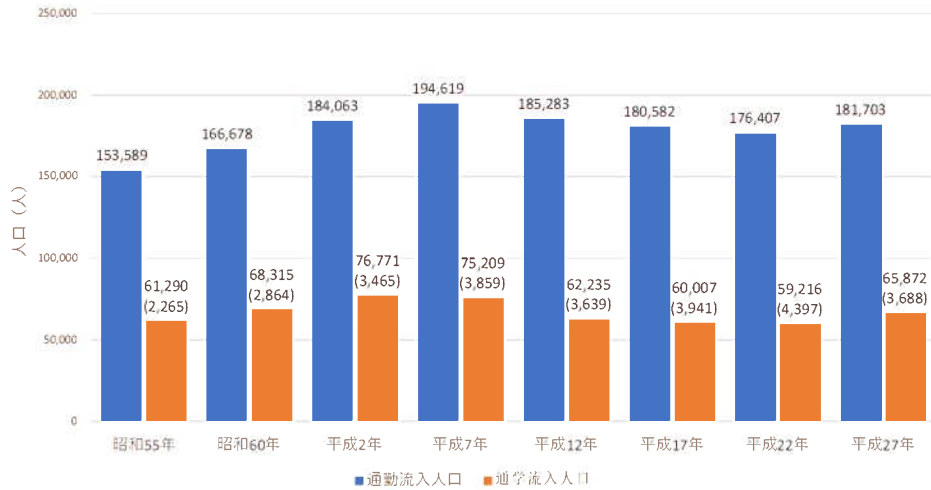
## 【定住人口】社会動態(就職、結婚・子育て世代の転出超過)



資料)京都市「住民基本台帳(令和元年)」 ※平成30年10月～令和元年9月末の年計

10

## 【昼間人口】京都市への通勤・通学流入の推移(S55~H27)



※通学流入人口の( )内の数値は、15歳未満の通学者数で、内数

資料)総務省「国勢調査(平成27年まで)」

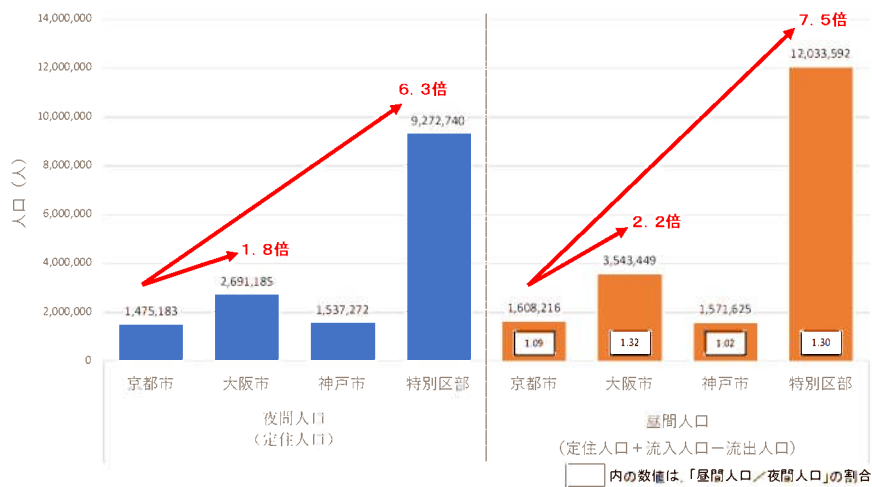
11

## 【昼間人口】昼夜間人口の大都市比較(H27)

京都市は、昼夜間人口とも、東京・大阪と大きな格差。

(大阪市 ⇒ 対京都市比、夜間人口1.8倍、昼間人口2.2倍)

(東京特別区部 ⇒ 対京都市比、夜間人口6.3倍、昼間人口7.5倍)



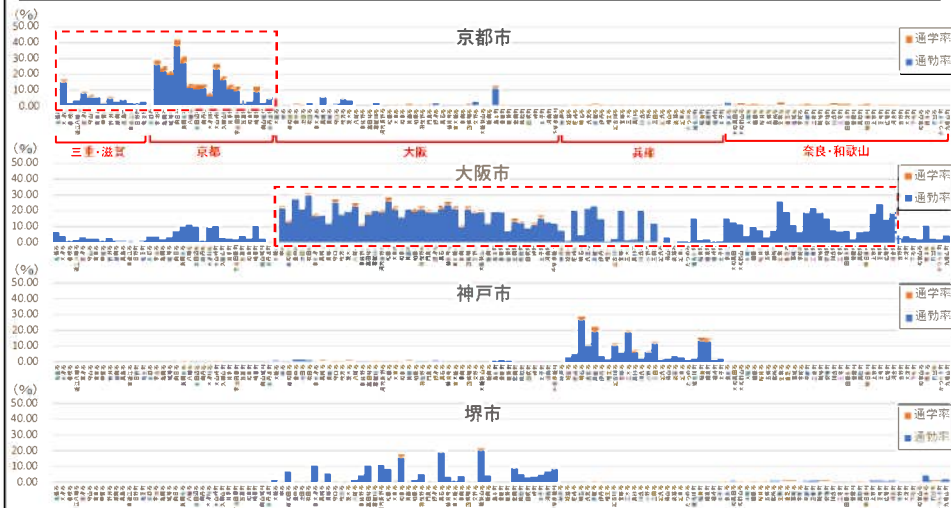
資料)総務省「国勢調査(平成27年)」

12



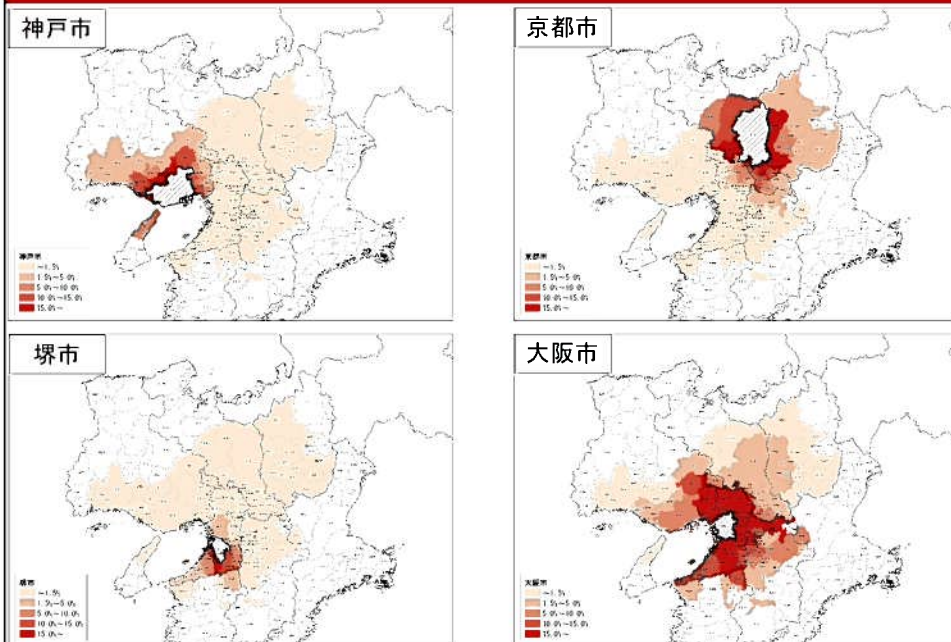
## 【昼間人口】周辺市町村から4政令市への通勤・通学者数割合(H27)

近畿大都市圏の広域で大阪市への通勤・通学者数割合が高い中で、京都府や滋賀県下の市町村については、京都市への通勤・通学者数割合が他の政令市よりも概ね高い傾向。



※近畿大都市圏は、中心市である近畿4政令市と、その周辺市町村で構成。周辺市町村とは、中心市への15歳以上通勤・通学者数の割合が当該市町村の常住人口の1.5%以上であり、かつ中心市と接続している市町村をいう。  
※グラフは近畿大都市圏に属する周辺市町村について、各政令市への15歳以上通勤・通学者数割合を示したもの。 資料)総務省「国勢調査(平成27年)」 15

## 【昼間人口】周辺市町村から4政令市への通勤・通学者数割合(H27)

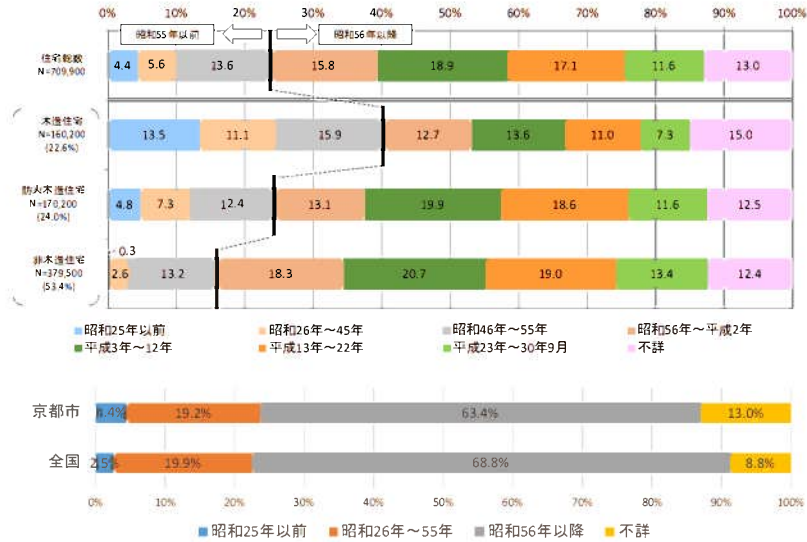


※図は近畿大都市圏に属する「周辺市町村」について、各政令市への15歳以上通勤・通学者数割合を示したもの。 資料)総務省「国勢調査(平成27年)」 16



## 【住宅】住宅建築の年代別状況

市内の住宅の約25%は耐震基準が古い昭和55年以前に建築されている。

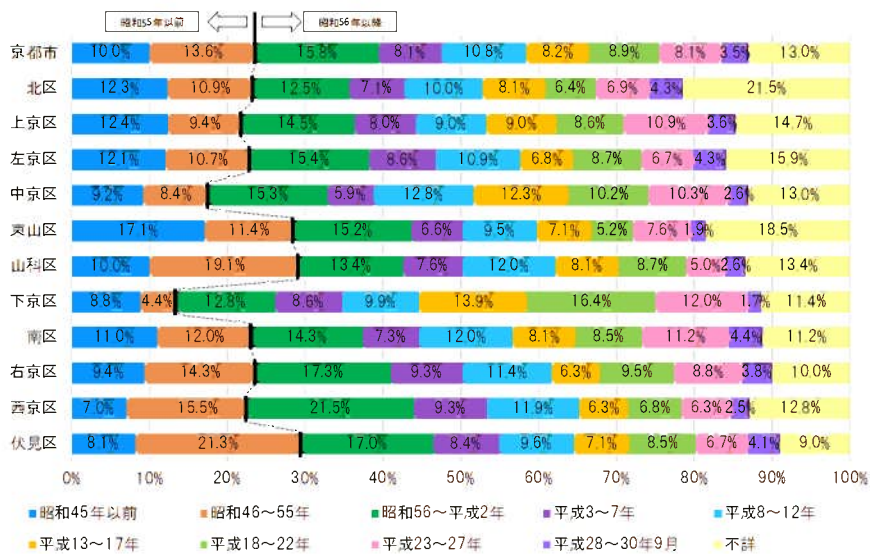


資料)総務省「住宅・土地統計調査(平成30年)」

17

## 【住宅】各行政区における住宅建築の年代別状況

耐震基準が古い昭和55年以前に建築されている住宅割合は、伏見区、山科区、東山区の順で高い。



資料)総務省「住宅・土地統計調査(平成30年)」

18

## 【住宅】種類別の空き家数

空き家数は近年、11万件前後で推移。空き家の種類別では、本市は他政令市平均に比べ、市場に流通していない一戸建て等の割合が高い。

京都市の種類別の空き家数の推移



種類別の空き家数の政令市平均との比較

|       | 空き家数    | 二次的住宅 | 賃貸用    | 売却用   | その他の住宅（※）（空き家数に占める割合） |       |              |
|-------|---------|-------|--------|-------|-----------------------|-------|--------------|
|       |         |       |        |       | うち 一戸建て               | 長屋建て  | 一戸建て・長屋建ての割合 |
| 京都市   | 106,000 | 2,200 | 54,600 | 4,200 | 45,000                | 42.5% |              |
| 政令市平均 | 89,600  | 1,200 | 56,600 | 3,900 | 24,900                | 26.0% | 61.1%        |
|       |         |       |        |       | 13,500                | 27.9% | 31.1%        |
|       |         |       |        |       | 1,500                 | 53.8% |              |

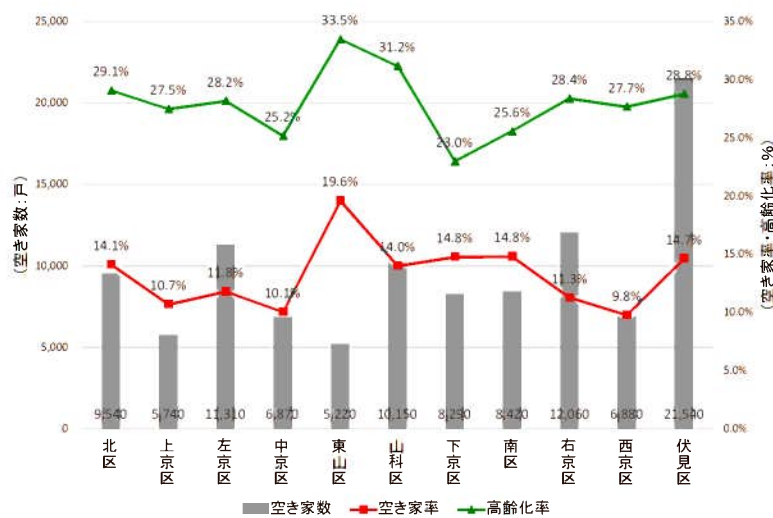
※ 二次的住宅（別荘など）、賃貸用、売却用以外の市域に流通していない空き家（平成30年住宅・土地統計調査）

資料）京都市「空き家等対策計画」

19

## 【住宅】各行政区における空き家数、空き家率、高齢化率

空き家率は、東山区が最も高く、次いで南区、下京区、伏見区が高くなっている。

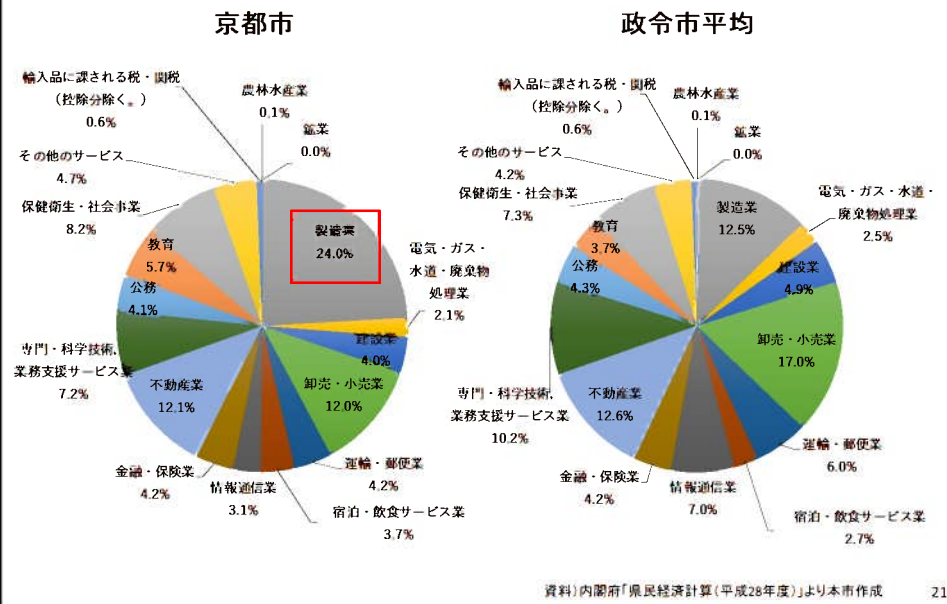


資料）空き家数及び空き家率：総務省「住宅・土地統計調査（平成30年）」  
高齢化率：総務省「国勢調査（平成27年）」を基に推計

20

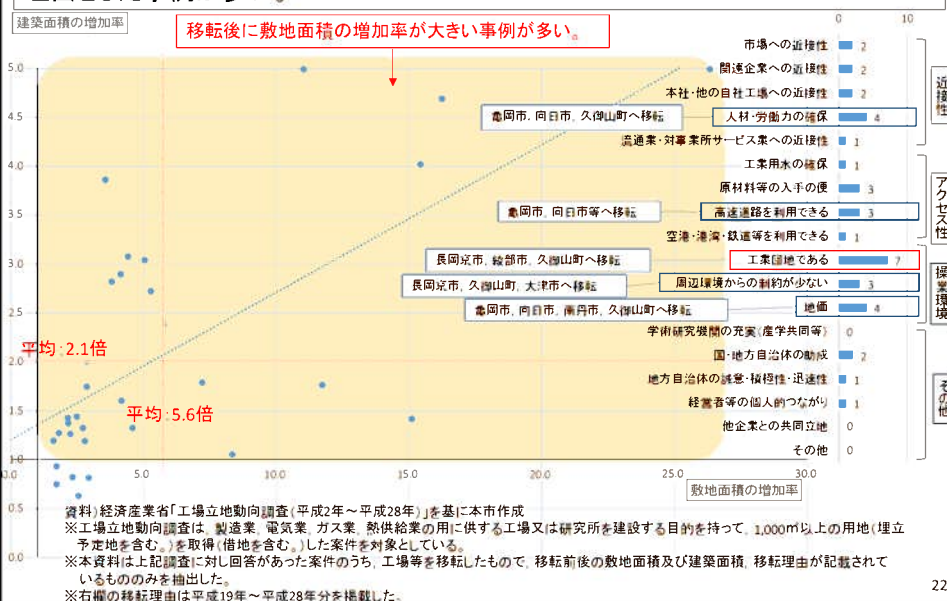
## 【産業・働く場】市内総生産の構成比(京都市と政令市平均)

本市の市内総生産の構成比は、政令市平均と比較すると、製造業のシェアの高さが特徴的。



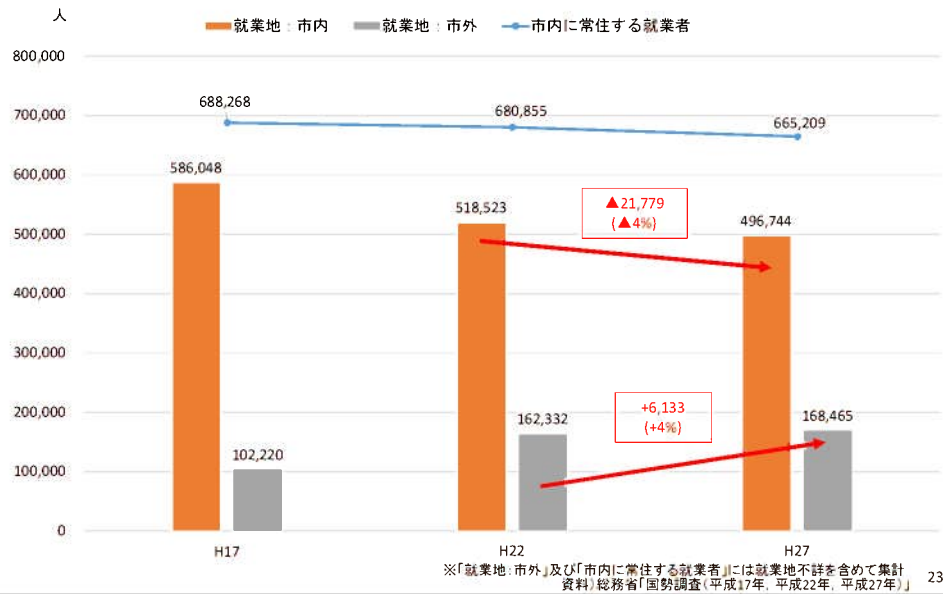
## 【産業・働く場】工場等の市外移転(規模・理由)

移転後の敷地面積の増加率が大きく、工業団地など操業環境の確保を理由とした事例が多い。



## 【産業・働く場】市内に常住する従業者(15歳以上)の就業地の変化

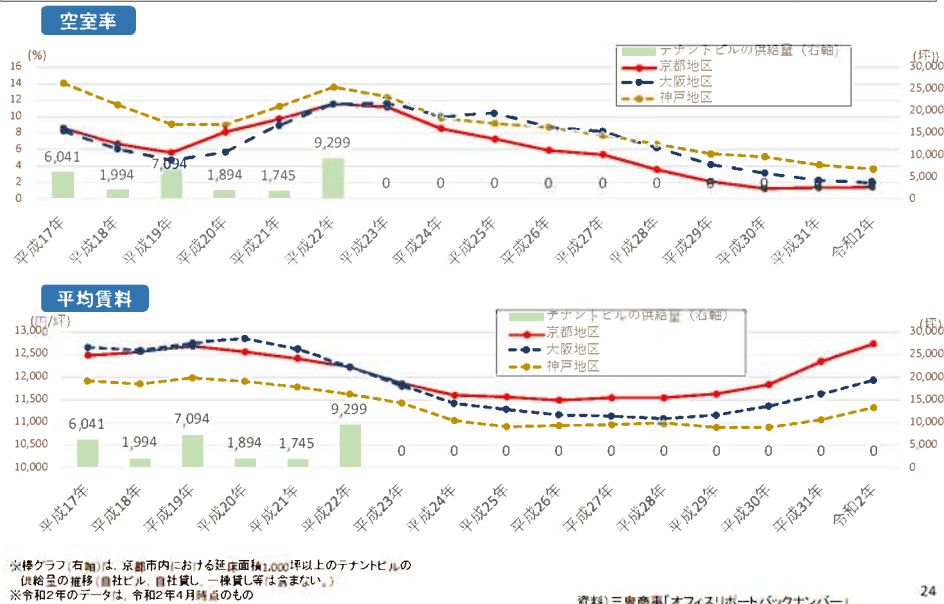
市内に常住する従業者(労働人口)は微減。市内常住者のうち、**市内での就業者が減少**する一方、**市外での就業者が増加**(→ 転出予備軍の可能性)



23

## 【産業・働く場】テナントビルの空室率と平均賃料の推移

本市におけるテナントビルの空室率は、大阪・神戸地区に比べて低く、平均賃料は高くなっている。延床面積が1千坪以上のテナントビルは、平成22年度以降、新規の供給が止まっている。

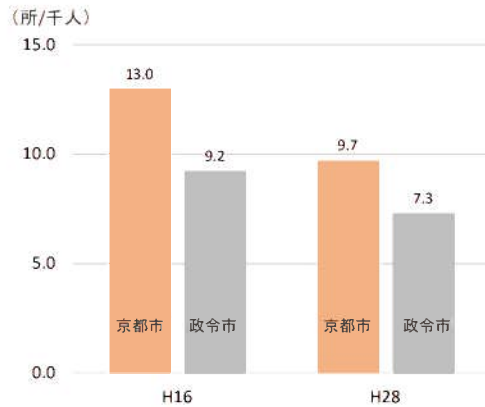


24

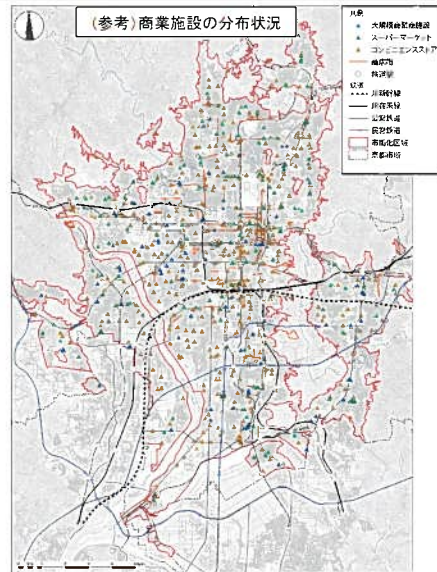


## 【商業・生活サービス】小売事業所数(市民千人当たり)

本市の市民千人当たりの小売事業所数は、政令市平均と比べ多い。



資料) 総務省「平成16年商業統計調査」、総務省「平成28年経済センサス活動調査」、  
総務省「住民基本台帳」から本市作成

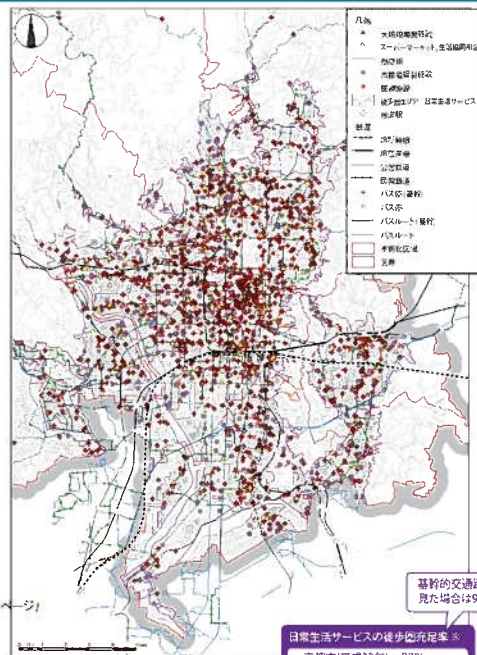


資料) NTTタウンページ㈱「タウンページ」に掲載の大規模商業施設、  
スーパーマーケット、コンビニエンスストアを基に本市作成

25

## 【商業・生活サービス】日常生活に必要な施設(医療・福祉・商業)

日常生活に必要な医療、福祉、商業施設と基幹的交通路線(1日30本以上の鉄道・バス路線)の全てを徒歩圏で利用できる人口の割合は、87%となっている。



資料)  
大規模商業施設、スーパーマーケット、生協同組合: NTTタウンページ㈱「タウンページ」  
商店街「きょうは買い物日和(全行政区)」  
高齢者福祉施設、医療施設: 国土交通省「国土数値情報(福祉施設データ)」

基幹的交通路線のみで  
見た場合は92%

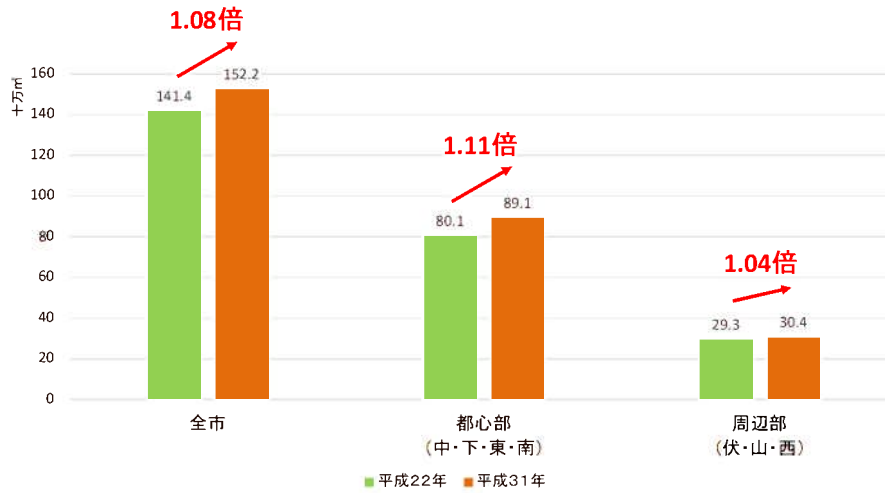
日常生活サービスの徒歩圏充足率 %  
京都市(平成22年) 87%

26



## 商業・業務機能施設の床面積増加率(H22→31)

商業・業務機能施設の床面積は、全市で増加傾向。  
都心部に比べて、周辺部の増加は緩やか。



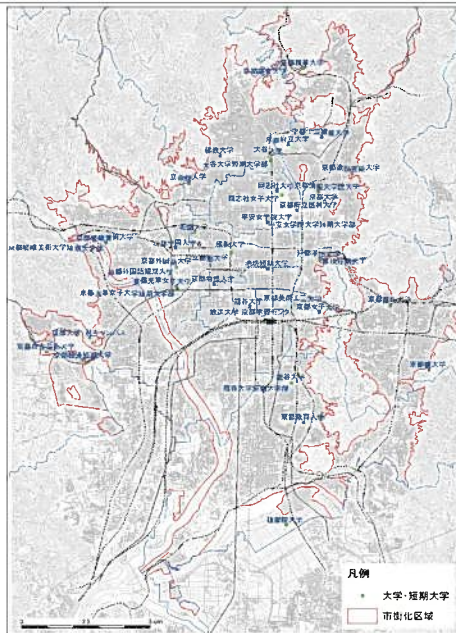
※本市の土地利用現況調査において、用途区分が「百貨店」、「店舗」、「業務」、「サービス」のいずれかに該当するものについて、床面積を集計

資料)土地利用現況調査(京都市)

27

## 【大学】大学・短期大学の立地状況

市内に38の大学や短期大学が広範囲に立地し、公共交通の徒歩圏で利便性が高い分布となっている。



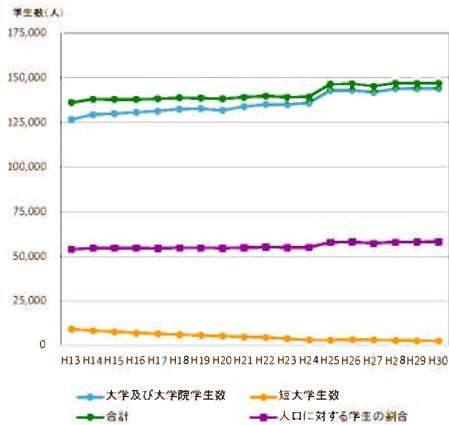
資料)国土交通省「国土数値情報」  
(学校データ)

28

## 【大学】学生数の推移、留学生数の推移

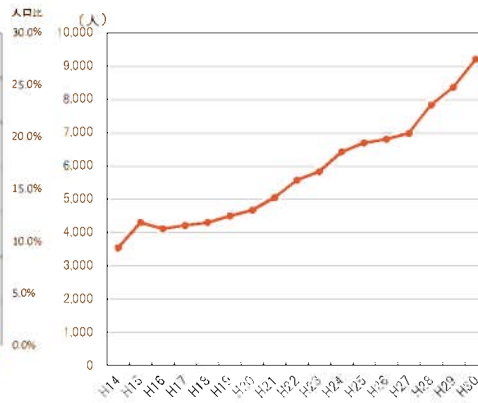
学生数は近年増加しており、人口に対する割合が10%（14.7万人）と高いほか、留学生数も年々増加している。

学生数の推移



資料) 文部科学省「学校基本調査」(平成30年度)

留学生数の推移

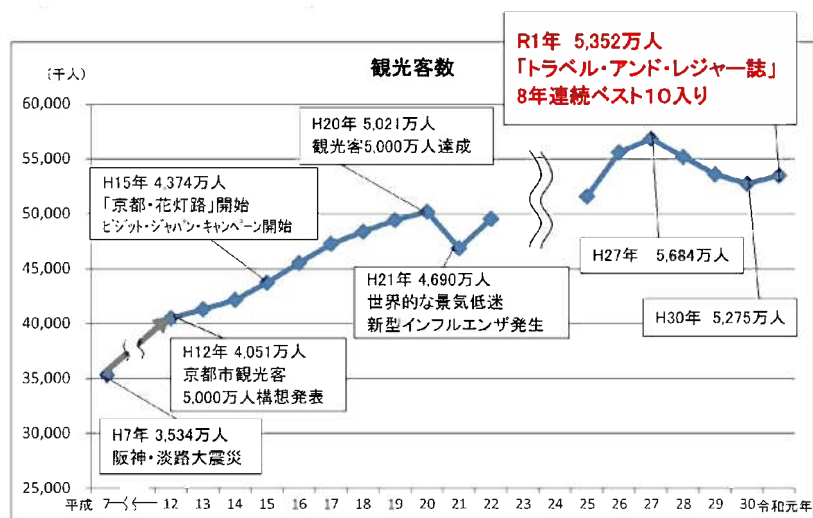


資料) 日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」(平成30年度)

29

## 【観光】観光客数の推移

観光客数は近年大幅に増加し、年間約5千万人以上が訪問。



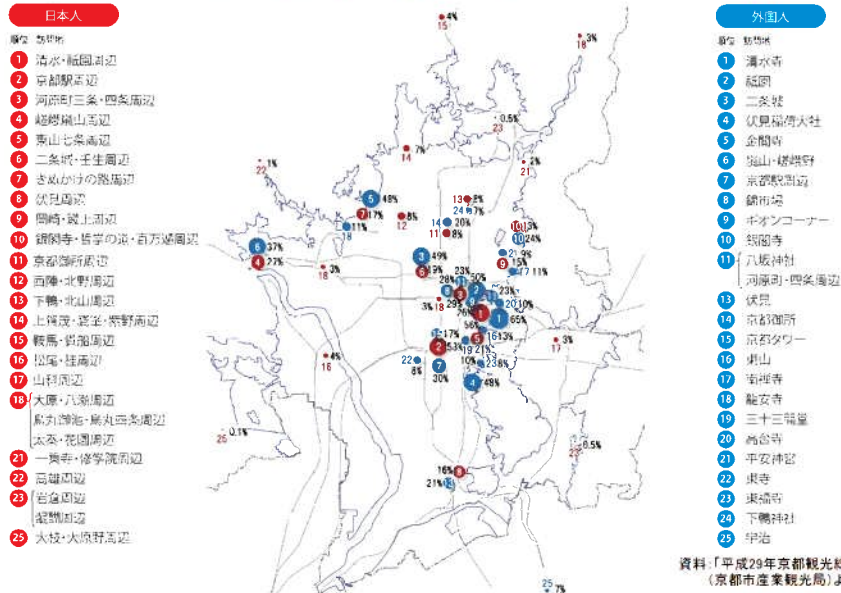
(注) 平成23年及び平成24年は調査手法の変更により観光客数を推計していない。

資料) 京都市「観光総合調査」(令和元年(2019年)1月～12月)

30

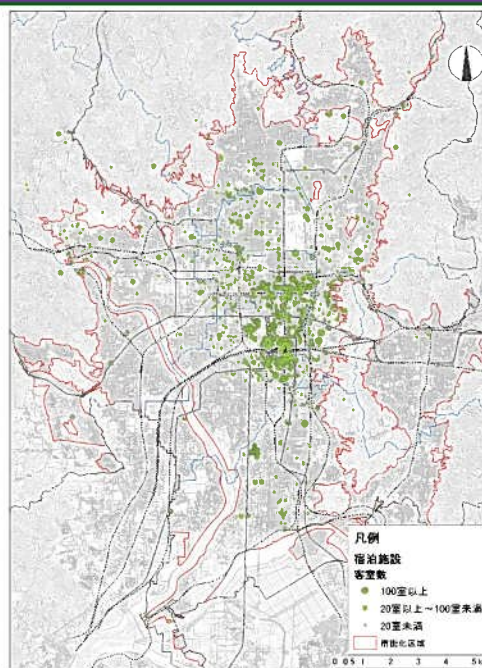
## 【観光】交流人口・観光客の訪問先(上位25位)

訪問先では、清水・祇園周辺や、京都駅周辺、嵐山、金閣寺といった辺りに集中している。  
外国人はそれに加え、二条城、伏見稲荷大社に多く訪問している。



31

## 【観光】宿泊施設の立地状況

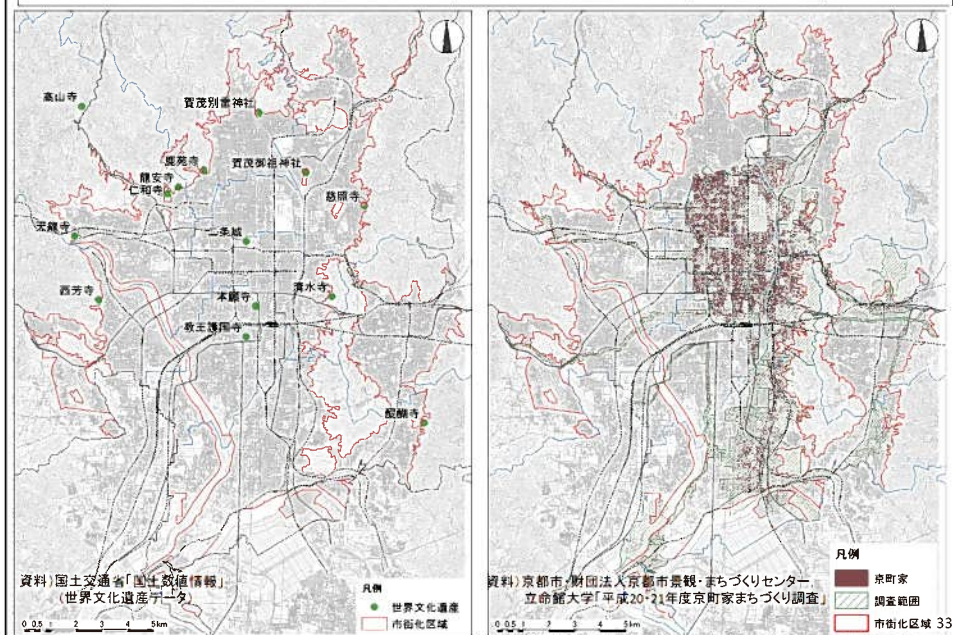


資料)京都市「旅館業許可台帳」  
を基に本市作成

32

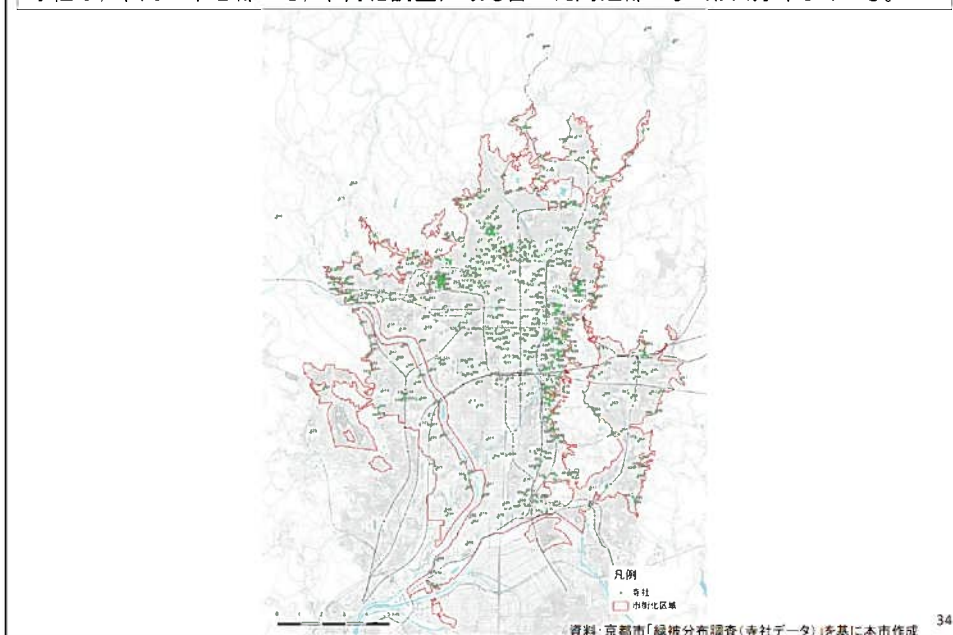
## 【文化】世界文化遺産、京町家の分布状況

市内には、世界遺産を含む数多くの国宝や重要文化財、京町家などの歴史・文化資源が残されている。



## 【文化】寺社の分布状況

寺社は、市内の中心部から、市街化調整区域も含めた周辺部にまで広く分布している。

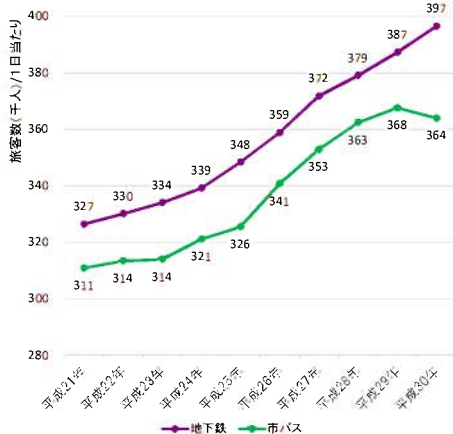




## 【公共交通】公共交通の利用状況

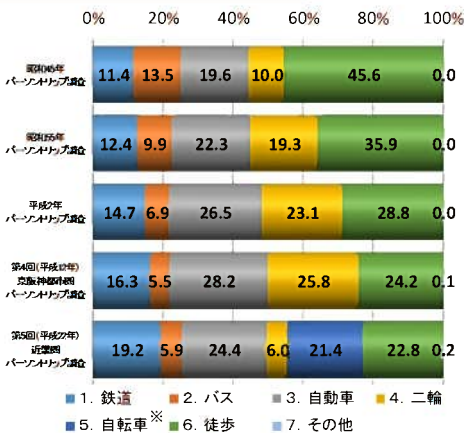
本市では、地下鉄・市バスの利用人員は、近年、増加傾向となっている（市バスはH30に減少）。本市における代表交通分担率は、10年前と比較すると、自動車の分担率は減少し、鉄道・バスを合わせた公共交通が最も多くなっている。

公共交通の旅客数の推移



資料)京都市「交通事業白書」

代表交通分担率(平日)の推移



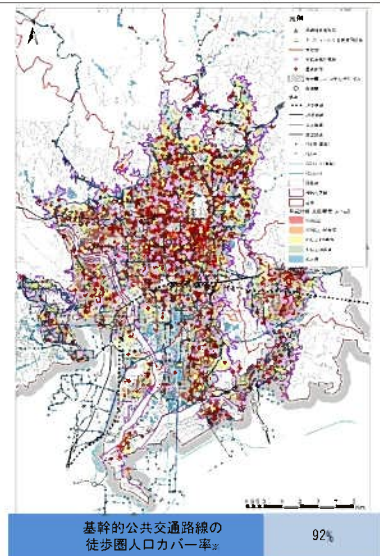
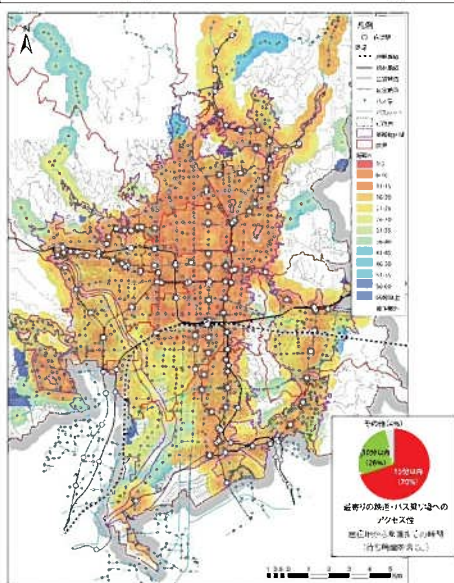
※平成22年調査より、従前の「二輪」を「自動二輪・原付」と「自転車」に細分化

資料)国土交通省「京阪神都市圏パーソナルトリップ調査」  
「近畿圏パーソナルトリップ調査」

35

## 【公共交通】公共交通のネットワーク状況

居住地から最寄りの鉄道駅・バス停へ到達し、待ち時間も含めて乗車するまでに要する時間は、居住人口の70%が15分以内、96%が30分以内となっている。  
基幹的交通路線(1日30本以上の鉄道・バス路線)の徒歩圏人口カバー率も92%となっており、他都市よりも高い。



※基幹的交通路線: 1日30本以上の鉄道・バス路線(バスは2000人以上乗客を運ぶ路線を指す)

36

## (参考) 他都市との比較

| 評価指標                        | 単位   | 京都市 | 全国 | 三大都市圏 | 政令市 | 概ね30万 |
|-----------------------------|------|-----|----|-------|-----|-------|
| 日常生活サービスの徒歩圏充足率             | %    | 87  | 43 | 53    | 63  | 30    |
| S45DID区域における人口密度            | 人/ha | 82  | 64 | 83    | 71  | 43    |
| 基幹的公共交通路線の徒歩圏人口カバー率         | %    | 92  | 55 | 66    | 72  | 40    |
| 公共交通の基幹分担率<br>(平日における鉄道+バス) | %    | 27  | 14 | 24    | 14  | 8     |
| 公共交通沿線地域※の人口密度              | 人/ha | 62  | 35 | 54    | 31  | 16    |
| DID区域に住む人口比率*               | %    | 95  |    |       | 89  |       |

(資料)京都市:平成28年度魅力あるまちづくりを目指した持続可能な都市の構築の検討基礎調査結果(平成29年3月)を基に本市作成  
 全国、政令市、概ね30万:都市構造の評価に関するハンドブック(平成26年8月、国土交通省調べ)  
 (同ハンドブックで使用されていない評価指標(表中\*))については、平成22年国勢調査を基に本市作成)  
 比較に当たっては、同ハンドブックで使用している都市規模を準用  
 三大都市圏:東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、京都府、兵庫県  
 政令市:上記以外の地方圏に存する政令指定都市  
 概ね30万:地方圏に属する人口10万~40万人の都市

評価指標に係る注釈 ※全ての鉄道駅、バス停の徒歩圏(鉄道駅:半径800m圏、バス停:半径300m圏)